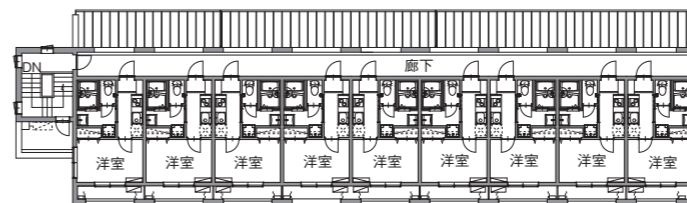




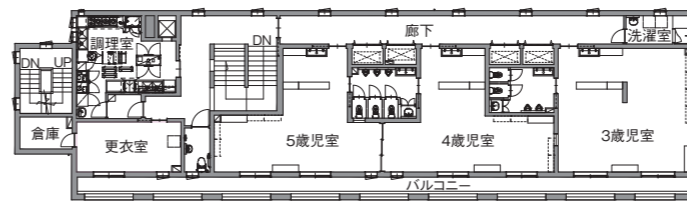
耐火構造は必要壁量が増えるため、高強度耐力壁が使用された。



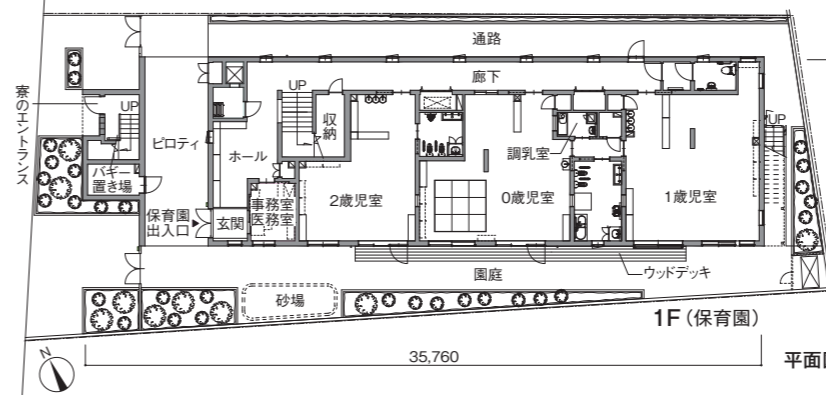
駅から徒歩2分という通勤途中の送り迎えにも便利な場所に建設された保育施設。1階、2階が保育園で、3階に保育士寮が併設されている。建物手前に寮へアクセスする階段室が設けられ、左手にエントランスがつくられている。保育園へは右手の門扉から出入りできるので、動線が交差することはない。



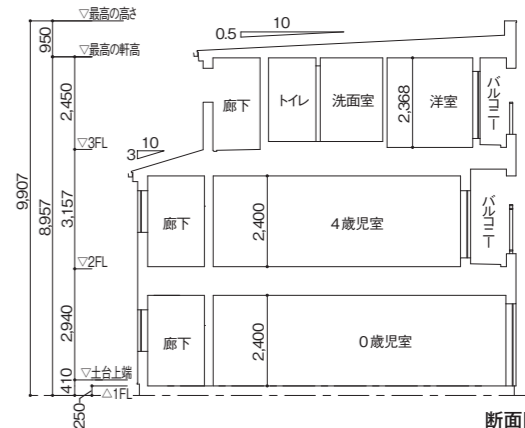
3F (寮)



2F (保育園)



1F (保育園)



断面図

耐火被覆を行った天井の懐部分に空調の天井カセットやダクト配管などが設置されている。



## 保育士寮を併設した 3階建て保育施設

保育施設に入所希望を出しても満員で入所できない、いわゆる「待機児童問題」対策として保育施設の早急な整備が求められています。2017年4月、東京都板橋区に開所した本施設も、そうしたニーズのもとで、最寄駅から徒歩2分の利便性の高い立地に建てられました。1階と2階は0～5歳まで計90名の乳幼児を受け入れる中規模の認可保育園、3階は保育士用の9室の寮です。保育業界の課題である人材確保をも担った建物です。本施設は当初、鉄骨造の予定でしたが、事業主の予算に合わず、木造建築の実績が豊富な設計事務所に「木造に変更できないだろうか」という相談がもちかけられました。そこで算出されたツーバイフォーの概算見積りが約2割のコスト減となったため、ツーバイフォー工法で建てることになったのです。

鉄骨造を前提にしたプランをツーバイフォーの構造に置き換えるためには、部分的な調整が必要でした。高強度耐力壁を使用して空間を確保しながら荷重を支持させたり、水まわりを移動させたり、一般流通材(床根太2×10材)の許容範囲内に部屋幅を抑えたりとプランの変更をともしました。また、第2種高度地区の規制のもとで耐火構造の3階建てをつくることは、設計・施工両面で難題でした。斜線制限の範囲内に建物高を抑えながら、3層分の天井高と床・天井の耐火被覆、設備スペースを確保するために、1階と2階の天井の懐を高くとり、エアコン等の設備やダクト一式を集約させる策がとられました。

関東で80以上の保育施設を運営する事業主は、ツーバイフォー工法の採用は本施設が初めてでしたが、「木造でこのような施設ができるとは思わなかった。大変暖かい建物となってよかった」と評価しています。



保育室は年齢別に6部屋あり、1階には畳コーナーがある0歳児室(写真①)、その両側に1歳児室(写真②)と2歳児室がある。0歳児と1歳児用のトイレ設備は共用で、オムツ台・汚水流し・幼児バスなども置かれている(写真③)。



2階には3歳児室、4歳児室(写真④)、5歳児室(写真⑤)の3部屋の保育室があり、廊下を介さず室内から直接トイレへ行くことができるプランになっている。4歳児と5歳児用のトイレ(写真⑥)は共用で、両方の部屋から出入りできる。各部屋には手洗い場も設けられている。腰壁や建具、家具には無垢材が使用され、建具は手を挟まない工夫がされている。

調理室には衛生・耐火・耐久性に優れたステンレスが多用されている。



勾配がゆるやかで広い踏み場が設けられた階段。踏み面が明確に分かるようにカラフルな滑り止めがついている。

### 物件概要

#### グローバルキッズ成増園

所在地：東京都板橋区  
主な用途：保育園、共同住宅  
構造：木造  
枠組壁工法(耐火建築物)  
規模：3階建て  
敷地面積658.65㎡(199.24坪)  
建築面積340.97㎡(103.14坪)  
延床面積955.68㎡(289.09坪)  
事業主：株グローバルキッズ

### Childcare facilities

設計・監理：サトーテクニカルデザイン(株)  
施工：株望月工務店  
建方工事：ウイング(株)  
工期：2016年8月～2017年2月  
法規・敷地条件：第1種住居地域、第2種高度地区、準防火地域、建蔽率60%、容積率160%、地盤補強(柱状改良)



3階の寮スペースにある保育士の部屋は9室。1Kでバルコニーがついている。